

野間林庵家文書

閲覧請求番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	点数	形態	備考
1-1	(包紙)			(江戸後期)			1	包紙	1-2~1-7の包紙。/包紙の上書あり(「公込入用 芸術書付」、「金百疋」)
1-2	[北方村内高式拾八石五斗領知ニ付綴]	総目		(江戸)					虫損。
1-2		細目①	感状(北方村内高式拾八石五斗被下置候事ニ付書状)	(慶長年間カ)	輝政(花押)	高橋源左衛門方	1	状	輝政=池田輝政カ。
1-2		細目②	尾州葉栗郡北方村之渡御船守船頭江給事(北方村之内領知之儀寺尾土佐守より申渡ニ付書状)	寛文5年乙巳年8月15日	佐藤半大夫雅秀(花押)	里小牧村 御渡船守 両船頭中	1	状	
1-3	諱帰納(喉音・歯音ニ付書付)			天和2年壬戌黄鐘17日	正盛㊦	野間養順雅丈	1	状	黄鐘=陰曆11月。/年号・差出・宛名に朱線。
1-4	享和元年酉四月差出候芸術書付草稿(野間昌甫医学・儒学履歴ニ付書付)			(享和元年)酉4月	奥御医師 野間林庵二男 野間昌甫		1	状	野間昌甫は享和元年当時28歳。/在江戸。
1-5	文化十年酉四月朔日柴田承三へ差出(野間昌甫医学履歴ニ付書付)			(文化10年)酉4月	奥御医師 野間林庵惣領 野間昌甫	柴田承三	1	状	文化10年当時野間昌甫は40歳。/控カ。
1-6	(同盟結社につき漢詩)			(江戸)			1	状	七言絶句。/裏書あり。
1-7	享和元年辛酉五月四日武昌於官舎御話被遊候開書(山口六左衛門屋敷ニ付書付)			(享和元年)酉5月4日			1	状	
2-1	(御望之法橋之件并門弟ニ付書状)			(江戸)9月7日			1	状	状の継ぎ目が取れている。/虫損。
2-2	忠五郎へ遣候控(野間隆房以前系図ニ付書付)			文政2年正月	康久八代 野間林庵 隆房		1	状	野間隆房=野間昌甫。/標題脇に「文政二年二月朔日」と書いてある。
3	(御饗応并品物被下候ニ付礼状)			(江戸)11月16日	春名静馬	後藤鉄治郎様他1名	1	状	
4	(毎日之天気ニ付書付)			(江戸)壬子1月14日~2月29日			1	状	
5	立春(春ニ付書付)			(江戸後期)	隆広		1	状	隆広=7代目野間林庵 嘉永元(1848)年~明治31(1898)年以降没。/虫損大。
6	(喜之助様快被成候ニ付書状)			(江戸)3月21日			1	状	
7	(続太平記書抜)			(江戸)			6	状	
8	慮橋薫風(花の香ニ付和歌)			(江戸後期)	(野間)隆広		1	状	虫、汚れあり。/書き直しの部分あり。
9	系譜(野間久左衛門家系譜)			安政6年11月4日			1	状	元祖野間久左衛門乙長~8代目野間久左衛門乙吏の系譜を記述。
10	(有栖川をり仁親王様ニ付書状)			(江戸)	久口(栄カ)	御父上様	1	状	虫損あり。
11-1	(野間林庵家系譜ニ付書付)			(寛政3年カ)亥8月	御側医御免寄合御医師 野間林庵		1	状	作成者の野間林庵=野間貞隆(養春・休山)。
11-2	(系図差上候ニ付下書御写被成度事并悴病氣ニ付書状)			(江戸)4月7日	匹田太郎	野間林庵様	1	状	
12	主一無適(敬の字義ニ付書状)			(江戸)			1	状	
13	(林庵来月六日迄に退役すべき御沙汰御達ニ付書状)			(延宝期頃カ)	海 伝七 政澄(花押)他1名	野間林庵方様	1	状	虫損。/野間林庵=野間隆昌。/折紙の裏に「隆昌様 法橋叙任宣旨」と書いてある。/差出の残り1名は寺七郎 正
14	(紅葉ニ付和歌)			(江戸後期)	隆広		1	状	
15	(野間彦助・野間半助系図ニ付書付)			(江戸後期)			1	状	
16	順気補血丸(順気補血丸製法ニ付書付)			(江戸)			1	状	虫損。
17	(杵橋之書付御吟味之上御出し被下度事ニ付書付)			(江戸中期)	奥田只助	野間林庵様	1	状	奥田只助は杵奉行。/作成年月日は享保12年~元文2年、元文2年~寛保2年カ。
18	苗代(苗代ニ付和歌)			(江戸後期)	隆広		1	状	書き直しの箇所あり。
19	割符書付(文金六拾兩十ヶ年にて返上ニ付割符書付)			文政5年午7月	御小納戸役所	野間林庵殿	1	状	包紙とも。/勝田三雪他6名による奥書あり。
20	(長州出兵ニ付各大名之進路ニ付書付)			(江戸後期)			1	状	状の継ぎ目が取れている。

野間林庵家文書

閲覧請求番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	点数	形態	備考
21	早苗(苗ニ付和歌)			(江戸後期)	隆広		1	状	書き直しの箇所あり。
22	尾花風になひく・十六夜・深山秋夕・あはてかへる・栗(秋ニ付書付)			(江戸後期)	隆広		1	状	添削の書込あり。
23	再差出引替控先祖書(野間貞隆先祖書)			(寛政3年以降)8月	御側医御免寄合御医師 野間林庵		1	状	虫損あり。/作成者の野間林庵=野間貞隆(養春、休山)。
24	此方差出可申候先祖書草稿(野間貞隆先祖書)			(安永6年以降)8月	御側医御免寄合御医師 野間林庵		1	状	作成者の野間林庵=野間貞隆(養春、休山)。/標題の下に「不用」と書かれている。
25	(花ニ付書付)			(江戸後期)	隆広		1	状	書き直しの箇所あり。
26	(野間家先祖系譜并家紋ニ付書付)			(江戸)			1	状	虫損。
27	御広敷拝借割符書付(文金五両拝借ニ付割符書付)			(文政5年)午5月	御用所	野間林庵殿	1	状	包紙とも。/虫損。/野間林庵=野間昌甫。
28	割符書付(金七両借用ニ付割符書付)			文政2年卯2月	野間林庵		1	状	包紙とも。/野間林庵=野間昌甫。/包紙と袖に朱字で「入印」と書いてある。/奥書あり。
29	(室町幕府将軍・守護大名之履歴ニ付書)			(江戸)			5	状	
30	(医者剃髮之由来ニ付書付)			(江戸)			1	状	継目が取れて2つに分かれている。
31	(役人供応之節料理質素にすべきニ付書)			(江戸)			1	状	
32-1	(野間久左衛門軍功ニ付書状)			文化9年3月18日	末永慶吉	山本政之進様	1	状	継目が取れかかっている箇所あり。/末永慶吉:文化8年に御目見、文化10年に維君様御歩行。/山本政之進:文政6年に御目見、御馬廻。
32-2	(山岡景隆系図)			文化9年申3月28日			1	状	山岡景隆は勢多城主。
33	淋病妙薬(淋病治療薬調合書)			(江戸)			1	状	
34	(拝借物返上之儀延引ニ付書状)			(江戸)			1	状	
35	(豊後守家来に天木姓の者有之候哉御尋ニ付返答)			(江戸)6月22日	早川環	平井善朴様	1	状	
36	寛文六年日記(歯薬の調合法并販売場所ニ付書付)			寛文6年			1	状	表紙のみ。/「石筆ノ有所 上京一条通鏡石町 長崎屋金兵衛」と書いてある。
37	(天木善兵衛秀光并天木家家紋ニ付書状)			(江戸)	上野間村 天木善三郎		1	状	継ぎ目が取れかかっている。/上野間村:尾張国知多郡
38	(戦国・織豊期口木氏系図)			(江戸)			1	状	住吉社官板屋氏庶流の始祖刑部口重行が摂州口木にいたので口木と名乗る。
39	(野間貞隆先祖履歴ニ付書付)			(江戸中期)	(野間貞隆)		1	状	書き直しの箇所あり。
40	系譜(畠山・三好家系図ニ付書付)			文化9年申2月	野間林庵 貞隆		1	状	裏に寛永十八年辛巳九月畠山民部大輔→大田備中守殿に宛てた書状あり。/表題「諸家系図抜書 三好右京之内」。
41	(系譜差出延引詫候ニ付書状)			(江戸)3月19日	野間忠五郎	野間林庵様	1	状	虫損あり。
42	(小笠原九郎右衛門所持備藩典上下ニ付書付)			(江戸)			1	状	
43	春夢と云ことを(横笛の曲ニ付書付)			(江戸)			1	状	
44	(安倍・長栄之家紋ニ付書付)			(江戸)	荒尾六右衛門	野間林庵様	1	状	包紙とも。
45	(別紙式通差上候故御落手被成度ニ付書)			(江戸)7月21日	吉田弥右衛門	野間林庵様	1	状	
46	(梅春方へ御序も有之候間密談ニ付書状)			(江戸)正月28日	間宮□□	野間林庵様	1	状	虫損、汚れあり。
47	(書籍七冊進上致候ニ付書状)			(江戸)11月7日	□停何雲	野間林庵様	1	状	虫損。/継ぎ目が取れている箇所あり。
48	(御談之儀有之候間御登城被成度ニ付書状)			(江戸中期)12月29日	一色六左衛門	野間林庵様	1	状	一色六左衛門=一色弥弥/六左衛門と名乗っている時期は天明5年9月晦日～享和3年5月21日。/宛所の野間林庵=野間貞隆(養春、休山)カ。

野間林庵家文書

閲覧請求番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	点数	形態	備考
49	歳中梅・冬恋(春を待つ梅の花ニ付和歌并寒き冬の夜に流した涙ニ付和歌)			(江戸後期)	隆広		1	状	添削の書込あり。
50	(野間隆広様宛封筒)			明治31年8月27日	名古屋市鍋屋町百三拾四番戸 竜茗園 川出竜雄	三重県伊勢国 桑名郡赤須賀 野間隆広様	1	封筒	封筒のみ。
51	(野間仲儀年若ニ付養春相添罷下候ニ付書状)			(江戸)			1	状	野間養春: 宝暦13年以前生～文化12年以降没。/野間仲=野間仲蔵カ。
52	(先刻奉願候目薬被下度ニ付書状)			(江戸後期)8月9日	岩本繁十郎	野間林庵様	1	状	
53	(太平閑記抜書)			(江戸)			1	状	
54	野間家系藤氏(野間家系図并家紋ニ付書)			(江戸)			1	状	
55	(自求居士条下へ可書入張紙ニ付書付)			(江戸)			1	状	
56	(村名并家数ニ付書付)			(江戸)			1	状	池ヶ原村他15ヶ村の村名が書き上げられている。
57	夢逢恋(夢で君の面影に逢い嬉しきニ付書付)			(江戸)	秀		1	状	秀=野間隆広カ。/添削の書き込みあり。
58	夢逢恋(夢で君の面影に逢い嬉しきニ付書)			(江戸後期)	隆広		1	状	57より長文。/書き直し箇所あり
59	(御祝義ニ付御薬御焚被下度ニ付書状)			(江戸)朔日	不退	山崎様	1	状	
60	撰州大坂四天王寺修覆ニ付日本国中寺々江寄進ニ被仰付候寺数(寄進被仰付候各宗派の寺数)			(江戸)			1	状	
61	(評定所江可被相返ニ付書状)			(江戸)2月22日			1	状	前欠。/綴の紐が付いているので綴の一部カ。
62	(封筒)			(江戸)			1	封筒	封筒の表面に短歌が書いてある。
63	(集儀隊人数并仙台若殿上京ニ付書状)			(江戸後期)6月22日	弥左衛門	林庵様	1	状	集儀隊=集義隊。
64	御三家方御附人(成瀬・竹腰先祖系図ニ付書付)			(江戸後期カ)			1	状	
65	(道中無事ニ付心安可被思召ニ付書状)			(江戸前期)2月22日	野間三郎兵衛 宗利(花押)	野間林庵様	1	状	野間宗利は延宝2年10月17日に病死
66	(野間氏之祖被下候号ニ付書付)			(江戸)			1	状	
67	(小児疳・脾胃受湿・黄胖等治療のために用候薬の製法ニ付書付)			(江戸)			1	状	
68	(祖父二十三回忌追善のために詠候和歌ニ付書付)			(江戸)			1	状	
69	(新兵衛不相替御慈之段其外近況ニ付書状)			(江戸)7月21日	中島長益 延至(花押)他1名	野間養春様	1	状	差出の残り1名=中島長以 延辰。
70-1	(母上様病状今日は少々御快方ニ付書状)			(明治)9月7日	滝雄	御尊父様	1	状	
70-2	(ことり殿を良夫と結婚させたきニ付書状)			(明治)	滝雄	隆広様	1	状	70-1にくるまっていたもの。/隆広様=野間隆広。
71	(天木姓之者搜索仕候ニ付書状)			(江戸)	半次郎	野間林庵様	1	状	状の継ぎ目が取れかかっている。
72	都更衣(衣ニ付書付)			(江戸)	隆広		1	状	
73	萩・尾花・葛・撫子・女郎花・菊・薺・野草花(草花ニ付和歌)			(江戸後期)	隆広		1	状	
74	(忠勤のゆえに鳥目拾真文被下候ニ付書)			(江戸)			1	状	前欠。
75	恋剣によず(恋と剣ニ付書付)			(江戸後期)	隆広		1	状	
76	勤書 野間林庵(野間隆重勤書)			(江戸中期 享保6年以降)	(野間隆重カ)		1	状	虫損あり。/野間隆重:寛文8年(1668)～延享4年(1747)。
77	(和歌短冊)			(江戸)			10	短	
78	(今日尾州へ出立并昨夜古川金次郎斬罪ニ付書状)			(江戸)28日	弥左衛門	林庵様	1	状	
79	試筆・歳暮・元日・立春・年内立春・初春・元旦(時節に関する和歌)			(江戸)	為春他5名		1	状	状の継ぎ目が取れかかっている。
80	士林浜洞抽書(長野氏・熊谷氏系譜ニ付書)			(江戸)			1	状	虫損あり。
81	(病気見舞ニ付書状)			(江戸)12月25日	主水	林庵様	1	状	状の継ぎ目が取れている。

野間林庵家文書

閲覧請求番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	点数	形態	備考
82	割物金手当返上分(八両壹分式朱差出ニ付書状)			(江戸)10月	役懸		1	状	
83	不明不闇朧之月・春峰曙・思乃さわらひ(春に関する書付)			(江戸後期)	隆広		1	状	
84	隠居家督奉願候覚(野間道安に家督被仰付度ニ付書状)			弘化2年	野間林庵	浅井薫太郎殿他3名	1	状	野間林庵=野間昌甫。/「御目見未仕 次男 野間謙之進 巳三拾三歳」と書かれた書付虫損。
85	天木氏系図			(江戸)			1	状	
86	(野間氏系譜ニ付書付)			(江戸中期)8月	御側御免寄合御医師 野間林庵		1	状	端裏書あり。/下書カ。
87	松下納涼・水声入夜琴(風・水ニ付書付)			(江戸後期)	隆広		1	状	
88	連日待花・舟(花・舟ニ付書付)			(江戸後期)	(隆広)		1	状	
89	蛭似玉(玉を蛭と似せたことニ付書付)			(江戸後期)	(隆広カ)		1	状	
90	立春(春の到来を喜ぶことニ付書付)			(江戸後期)	隆広		1	状	虫損。
91	(野間家親類ニ付書付)			(江戸)			1	状	虫損。
92	多田満仲五代記抽書			(江戸)		京都	1	豎	多田満仲=源満仲。/多田満仲五代記=多田五代記。/京都が何を指すか不明。/著者は多田兵部。/元禄4年刊。
93	公方両将記(公方両将記抜書)			(江戸)			1	状	『公方両将記』イ重偏応仁記10巻中の抜書カ。/『公方両将記』は上田忠三郎から貰ったという奥書あり。/上田忠三郎は寛文2年5月に死去。
94	七夕七首・七草(気象・花に関する和歌)			万延元菊秋			1	状	七夕七草に所収の和歌の題名:「露」・「風」・「天」・「雲」・「月」・「雨」・「霧」。/七草に所収の和歌の題名:「萩花」・「尾花」・「葛花」・「撫子」・「敗醬」・「藤袴」・「朝旦」。
95	(調剤之御薬勘考なされたきニ付書状)			(江戸)12月21日	品村善太夫	野間林庵様	1	状	虫損。
96	人のもとに八重桜を送るとて(八重桜に関する書付)			(江戸後期)	隆広		1	状	
97	(雪ニ付和歌二首)			(江戸後期)	藤原朝臣隆広		1	状	
98	残紅葉・初霜・田家の雪・磯千鳥・暁神楽・歳暮祝(時節に関する書付)			(江戸後期)	隆広		1	状	
99	御代々戒名(野間家当主・親類戒名)			(江戸中期)			1	状	野間家当主の戒名は野間可楽(2代目野間林庵)まで記載。/付紙あり。
100	(寒中御安否窺として水鴨献上之儀ニ付書)			(江戸中期)12月11日	野間林庵 隆房(花押)	野間玄琢様	1	状	
101	(野間林庵に知行二百石被下置候儀ニ付書状)			(元禄4年)12月27日	竹腰筑後守 友正(花押)	野間林庵様	1	状	竹腰友正は、元禄2年12月27日に筑後守に任ぜられる。/野間林庵=野間庄次郎(隆昌)。元禄4年12月22日に徳川光友に召し出される。
102	(痛和らぎ候ニ付御札之儀ニ付書状)			(江戸)6月20日	竹腰山城守	野間林庵様	1	状	虫損。状の継ぎ目が取れている。
103	(新年の御祝義ニ付書状)			(江戸)	董子	維学心院御方へ	1	状	維学心院:高須藩主松平義当の娘で徳川宗睦の養女。近衛基前の正室。
104	(法印并改名被仰付候ニ付書状)			(弘化2年以降)正月5日	野間寿昌院法印 成紀(花押)	野間道安様	1	状	野間道安:文化4年生~文久3年以降没。弘化2年に家督相続。/野間寿昌院:野間玄琢/天保12年3月24日御本丸
105	(十五日に御出被下度ニ付書状)			(江戸後期)正月8日	野間玄琢	野間林庵様	1	状	
106	(御無沙汰之御詫ニ付書状)			(江戸後期)11月5日	野間玄琢	野間林庵様	1	状	



野間林庵家文書

閲覧請求番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	点数	形態	備考
139	(鷹・三笠山ニ付書付)			(江戸)			1	状	虫損。/漢詩・和歌などの書付が4首記されている。
140	(鎌倉実記・後太平記等抜書)			(江戸)			1	横	
141	新刊増補万宝事山(新刊増補万宝事山抜)			(江戸)	洞房奇妙春方		1	縦	
142	詩集稿(風景・時節ニ付書付)			嘉癸丑(寛政5年カ)秋九月十有八日	養春		1	縦	汚れ大。/収録されている漢詩の題名は「咏松」・「賞菊」・「山亭待月」・「涼夜歩月」・「堀川泛舟」・「元旦」・「和友人至見寄」・「紅葉」
143	詩稿(時節などニ付漢詩)			安政己未臘月安政6年12月27日	野間隆広		1	縦	収録されている漢詩:「歳暮」・「初春雜詠五首」・「人日」・「遥思上元」。/一部欠損箇所
144	(秋ニ付書付)			(江戸)	昌琢 昌倪		1	状	汚れ大。
145	聞見集(癡句・狂歌などニ付書付)			(江戸)	藤原隆久(花押)カ)		1	横	虫損。
146	鄙稿(漢詩ニ付書付)			(江戸後期)	隆広		1	縦	付紙が取れかかっている箇所あり。
147	(北越出兵における官軍・幕府軍配置絵図)			(明治元年)			1	鋪	
148	(熟語ニ付書付并草花などニ付和歌)			(江戸カ)			1	縦	上部に汚れあり。
149	慈斧(木枯・風に関する和歌)			(江戸カ)			1	縦	朱書で訂正あり。/表紙下部に「伏乞今」と書いてある。
150	(越後騒動親裁図写)			(延宝9年)			1	鋪	
151	(春光ニ付漢詩)			(明治)庚戌孟春	柳菴充		1	状	朱印あり(2カ所)
152	(百人一首書付)			(江戸)			1	状	袖部分に破損箇所あり。
153	(漢詩)			(明治カ)	無庵坐文カ)		1	状	朱印3カ所あり。/欠損箇所
154	(天押雲命系図)			(江戸)			1	状	裏に漢詩が書いてある。
155	(烏犀円残り分預り先ニ付書状)			(江戸後期)	伊藤弥平	野間琳庵様	1	状	伊藤弥平:文化14年召出。万延元年病死。/野間琳庵:野間道安(文化4年~文久3年以降没)。/状の継目が取れて宛所脇に朱字で「九」と書いてある
156	(烏犀角・羚羊角・一角など漢方薬差上ニ付書状)			(江戸後期)27日	吉郎カ)	琳庵様	1	状	
157	名香六十四帖(源氏物語巻名ニ付書付)			(江戸)			1	状	計54の巻名。/末尾に住吉大明神他2社の名があり。
158	(野間林庵先祖書)			(延享4年カ)	(野間隆喜カ)		1	状	野間左吉の代から記載。/虫損。
159	(野間家家紋并系図)			(江戸中期)			1	状	野間久兵衛~隆喜の代を記
160	(親類書)			(江戸末期)			1	状	「違従弟」や「又従弟」を記載。
161	(野間家系図)			(江戸中期)	(野間隆喜カ)		1	状	継ぎ目が取れかかっている。/野間長十郎~野間隆喜の子息の系図を記載。
162	(系図一覧ニ付書状)			(江戸)4月6日	源太郎	林庵様	1	状	
163	(野間家之儀問合せ仕りたきニ付書状)			(江戸)			1	状	
164	栗・浦暮秋(秋ニ付書付)			(江戸後期)	(野間)隆広		1	状	汚損。
165	(三千とせニ付書付)			(江戸)			1	状	
166	子日・初恋(千代・恋ニ付書付)			(江戸後期)			1	状	
167	家系(野間家先祖奉公書)			(江戸)			1	状	継ぎ目が取れかかっている。
168	金液丸(金液丸製法書)			(江戸)11月28日			1	状	
169	子日・初恋(子供時代・恋ニ付書付)			(江戸後期)	秀女		1	状	
170	(灸治・丸薬製薬仕候ゆえ金三百疋下し置かれ候ニ付書状)			(江戸中期)4月5日	丹羽万右衛門	野間林庵殿	1	状	野間林庵は野間貞隆もしくは昌甫カ。
171	暮春雨・暮春聞ありけれハ(暮春ニ付書付)			(江戸後期)			1	状	
172	養女願申(青山良八郎妹を養女とすることニ付書状)			(江戸後期)			1	状	汚れあり。/草稿カ。/青山良八郎は文化13年に佐屋代官の手代として召し抱えられてい
173	(十三日上着并体調ニ付書状)			(江戸)12月23日	滝川彦左衛門 忠綱(花)	野間林庵様	1	状	虫損。/汚れ。

野間林庵家文書

閲覧請求番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	点数	形態	備考
174	(広瀬左近経歴ニ付書付)			(江戸)			1	状	広瀬左近は広瀬城(飛騨国)を築城したとされる。
175	二月兼題遠山霞・稲荷詣・三月朝花・暮春丹・四月更衣・川卯花・五月曳菖蒲・簾外夏月(春・夏に関する和歌)			(江戸後期)	隆広		1	状	
176	江寒芦・浦千鳥・風前霞・寄雪恋・鶴(鳥・冬に関する書付)			(江戸後期)	隆広		1	状	
177	(人の心ニ付和歌)			(江戸後期)	隆広		1	状	
178	(尾張藩医一覧ニ付書付)			(文化期頃カ)			1	状	継ぎ目が取れている。/奥詰御医師の一人に野間林庵の名前が書かれている。
179	(野間林庵親類書)			(江戸)10月	野間林庵		1	状	付紙あり(3か所)。そのうち2つは取れている。/祖母、又従弟の記述あり。
180	(野間家先祖改姓・居住地問い合わせニ付書状)			(江戸)3月			1	状	
181	若江三人衆判形写			(江戸)			1	状	若江三人衆:三好義継が若江城主であった頃に補佐した三人の家老(池田丹後守 教正・野間左吉兵衛尉 康久・多羅尾常陸介 綱知)
182	(伊勢参りニ付書付)			(江戸)卯月はしめの日	房子		1	状	汚れあり。
183	寒峰月・関路雪・深夜埋火・庭上早梅・冬恋(雪・寒ニ付書付)			(江戸後期)	隆広		1	状	虫損。/継ぎ目が取れかかっている箇所あり。
184	(野間家先祖系図)			(江戸)			1	状	野間宗善～野間玄琢の系図
185	(檜垣姫肖像并履歴ニ付書付)			(江戸)			1	状	檜垣姫は平安時代中期の女性歌人とされるが、詳細は未詳。/檜垣姫の履歴が漢文体で書かれている。また、『千載和歌集』所収の檜垣姫作の和歌も書かれている。
186	三人衆連署(池田丹後守教正・野間左吉兵衛尉康久・多羅尾常陸介綱知連署)			天正6年8月吉日	池田丹後守 教正(花押) 他2名	禁裏様 立入左京進様	1	状	江戸期の写。/残りの2名は野間左吉兵衛尉 康久(花押)・多羅尾常陸介 綱知(花押)
187	(野間鉄之助先祖書)			寛政7年卯2月	御側大寄合支配 御金被下置 野間鉄之助		1	状	草稿。/曾祖父は2代目野間林庵(隆重)
188	(野間隆純経歴)			(元禄11年以降)	(野間隆純カ)		1	状	野間伴左衛門は林庵の二
189	(玄順老人風邪ニ付御宅介合申し来り候ニ付書状)			(江戸)霜月冬至		林荃賢兄貴様	1	状	
190	立春(春ニ付書付)			(江戸)			1	状	虫損。
191	(断簡)			(江戸)			1	状	破損箇所あり。
192	(旗本野間氏系図)			文化8年11月	六右衛門	昌甫様	1	状	
193	(薬製法ニ付書付)			(江戸)			1	状	
194	舟(舟ニ付書付)			(江戸後期)			1	状	
195	(野間家先祖人名并本国ニ付書付)			(江戸)			1	状	
196	(野間康久経歴ニ付書付)			(江戸)			1	状	写カ。/野間康久は天正9年6月17日に若江で死去。
197	(新本頂戴仕り候ニ付書状)			(江戸)3月26日	東條覚左衛門	野間林庵様	1	状	
198	池氷・寒松・暁の霽・夜神楽・歳暮祝(冬ニ付書付)			(江戸後期)	隆広		1	状	
199	(寒製地黄製法ニ付書状)			(江戸)12月27日	野間林庵	吉田主水様	1	状	状の継目が取れている。/虫損/12月26日の書状も貼り付けられている。
200	(野間姓先祖ニ付書付)			(江戸)			1	状	

野間林庵家文書

閲覧請求番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	点数	形態	備考
201	(野間隆実・雅樂之助ニ付書付)			(江戸)			1	状	
202	かひたん達世二・外科三十三(書付)			(江戸)			1	状	虫損。/継目が取れかかっている。
203	(丹治・安藤・水野家先祖系図)			文化14年丑正月10日	野間林庵 源隆房		2	状	
204	野間家系(野間家先祖系図)			(江戸)			1	状	天木越智尉〜野間隆長の系
205	(漢詩)			(江戸)16日	還諸子(カ)		1	状	前欠
206	(野間左吉以降系譜拝見仕りたきニ付書)			文政2年2月1日	野間昌甫(カ)	忠五郎	1	状	
207	宗武卿・試筆・年内立春・歳暮・筆はしめ・としの内にたつ春を・せいま(時節ニ付和歌)			(江戸)正月21日			1	状	
208	(食物・酒・調度品目書上)			(江戸)			1	状	継目が外れている。
209	(戊辰戦争における東北諸藩動向ニ付書)			(慶応4年カ)			4	状	
210	難波戦記ニ書(野間長三郎・野間久兵衛知行高二付書付)			(江戸)			1	状	
211	(又従弟書上)			(江戸)			1	状	
212	覚(書籍送付ニ付書状)			(江戸中期)5月27日		林庵様	1	状	破れている箇所あり。
213	(岩本平八ニ付書付)			(寛政2年以降)			2	状	岩本平八:岩本嘉益(寛政2年に死去)
214	(三月の天候ニ付書付)			(江戸)壬午3月~4月10日			1	状	江戸時代の壬午にあたる年は、寛永19年、元禄15年、宝暦12年、文政5年
215	(人馬取扱ニ付触)			(江戸)			1	状	
216	(尼子三郎左衛門組に野間久左衛門・長次郎罷在候ニ付書付)			(江戸)			1	状	
217	(鈴木久左衛門三男鍋之進御禊被召出并切米・扶持下され候ニ付礼状)			(江戸)2月21日	鈴木久左衛門 精信(花押)	野間林庵様	1	状	剥離した書付もあり。/鈴木精信:元文元年に卒。
218	(印鑑取扱ニ付触)			(江戸後期)	間嶋万次郎配下 中村助三郎		1	状	
219	(関ヶ原の戦いにおける野間久兵衛動向などニ付書付)			(江戸)			1	状	破れかかっている場所あり。
220	一紙(白紙)			(江戸)			1	状	
221	寒草・笥の氷・寒夜埋火・逢名逢恋・雪による悦(冬ニ付書付)			(江戸後期)			1	状	
222	(北村彦三郎より仏前への供物預り候ニ付書状)			(明治)	竜雄	隆広様	1	状	竜雄=川出竜雄カ
223	(みどりの儀万事注意并に機嫌伺いニ付書)			(明治)	竜雄	御尊父様	1	状	
224	(茶店など一件につき談判取計方返事下されたきニ付書状)			(明治)11月6日	野間隆賢	隆広様	1	状	虫損あり。
225	京都永楽屋之薬(薬原料・製法ニ付書付)			(江戸)申正月6日			1	状	
226	(御持病気ニ付書状)			(江戸)〇月28日		野間林庵様	1	状	虫損大。/宛所の脇に内事と書かれている。
227	(其表御賑々敷旨其他ニ付書状)			(江戸)12月	兼口左衛門	野間林庵様	1	状	虫損、汚れあり。/継ぎ目が取れかかっている。
228	(御足輕吉川喜代八疳瘡治療容体ニ付書)			(江戸)	野間林庵他1名		1	状	
229	(なす見事に生長仕り候故御誉めなされ候ニ付書状)			(江戸)	芳崎	野間林庵様	1	状	
230	(御薬調合下されたきニ付書状)			(江戸中期)12月22日	日江井善太夫	野間林庵様	1	状	状の継ぎ目がとれている。/虫損。/日江井善太夫=日江井豊季カ。
231	(容体ニ付書状)			(江戸)5月11日	吉田主水	野間林庵様	1	状	継ぎ目が取れかかっている。/虫損。/吉田主水=吉田嘉
232	(明廿四日出仕すべきところ持病ゆえ今日引籠り候ニ付書状)			(江戸)5月23日	宗運	林庵様	1	状	
233	(本居よりの御帰りに付書状)			(江戸)	吉田千禎	野間林庵様	1	状	後欠カ。
234	(餞別として時服・帷子進達致し候ニ付書状)			(江戸)4月22日	森養春院	野間林庵様	1	状	状の継ぎ目が取れている。/虫損。/森養春院は幕府の医師。

野間林庵家文書

閲覧請求番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	点数	形態	備考
235	(御前の診察并に薬の調合下されたきニ付書状)			(宝永3年～4年)6月3日	野々垣助右衛門	野間林庵様	1	状	状の継ぎ目が取れている。/野々垣助右衛門は宝永2年7月23日～同4年11月6日まで本寿院(綱誠側室)附。
236	覚(酒・菓子代請取ニ付書付)			(江戸)辰11月13日	佐屋宿 いわまや <sup>印</sup>	上様	1	状	
237	覚(衣服代ニ付書付)			(江戸)	小松屋万吉	野間林庵様	1	状	
238	七夕露・七夕風・七夕天・七夕雲・七夕月・七夕雨・七夕霧(七夕ニ付書付)			(江戸)			1	状	
239	山吹・暮春花(草花ニ付書付)			(江戸)	隆広		1	状	状の継ぎ目が取れかかってい
240	(徳川齊朝登城御礼濟ニ付若君へ御祝儀申上たきニ付書状)			(文化12年以降)9月22日	野間林庵 隆房(花押)	尾崎八右衛門様	1	状	
241	山躑躅・野遊(花ニ付書付)			(江戸後期)	隆広		1	状	
242	水鳩・連日五月雨(夏ニ付書付)			(江戸後期)	隆広		1	状	
243	(中務大輔様より銀子一枚下され候ニ付書状)			(江戸中期)12月29日	石原久右衛門	野間林庵様	1	状	状の継ぎ目が取れている。/虫損。/石原久右衛門:尾張藩士/野間林庵:野間隆喜/中務大輔:松平義敏(宗勝二
244	(御金御頂戴の御祝詞ニ付書状)			(江戸中期)11月6日	勝野常元 享叔(花押)	野間林庵様	1	状	包紙とも/勝野享叔は尾張藩医。
245	(御拝領の縞老反代金沓分式朱差上候ニ付書状)			(江戸後期)5月6日	森島新九郎	野間琳庵様	1	状	状の継ぎ目が取れている。/森島新九郎:尾張藩士。御小納戸などに就いた。
246	(林庵ら書状の内容委細承知并に北越の戦況ニ付書状)			(明治元年)9月10日	土岐市右衛門他1名	野間林庵様他1名	1	状	差出の残り1名は山上甚之丞、宛所の残り1名は石川勘
247	(御箱の内下され物有候ニ付書状)			(江戸後期)9月16日	篠惣八 長貞(花押)他1名	野間林庵さま	1	状	「隆昌様筆ナラン」という書き込みあり。/差出の残り1名は児祐之 貞信。/篠惣八:篠岡惣八郎。/児祐之:児島祐之進/野間林庵:野間昌甫
248	(風味上り候旨書状)			(江戸中期)2月4日	久野彦八郎	野間林庵様	1	状	虫損。/状の継ぎ目が取れている。
249	(明十九日登城并に御取仕るべきニ付書状)			(延享4年～宝暦4年)	長屋安左衛門	野間林庵様	1	状	状の継ぎ目が取れている。/長屋安左衛門:長屋忠直/野間林庵:野間隆喜
250	(掃部頭様・弾正弼様御灸穴ニ付書付)			(江戸)申10月28日			1	状	状の継ぎ目が取れている。
251	(封筒)			明治31年9月3日	名古屋市鍋屋町 壱丁目 竜茗園 川出竜雄	三重県伊勢国 桑名郡赤須賀 野間隆広様	1	封筒	
252	(尾張藩医人名書付)			(安永期頃)			1	状	状の継ぎ目が取れている。
253	(書付)			(江戸)			1	状	
254	(白紙)			(江戸)			2	状	
255	(鳥居半之助勤書)			(江戸中期)	鳥居半之助		1	状	
256	先祖書書付(野間林庵先祖書包紙)			(江戸)	御側医御免 寄合御医師 野間林庵		1	包紙	包紙のみ。
257	(御製薬御用のため登城下されたきニ付書状)			(江戸後期)8月12日			1	状	梶五郎三郎は尾張藩士。/野間林庵は野間養春もしくは昌
258	(竹長押役所へ罷り出るべきニ付書状)			(江戸後期)正月24日	矢部彦右衛門	野間林庵様	1	状	矢部彦右衛門:矢部謙克
259	太平記抜書			文化12年			3	状	元弘3年(1333)～貞治5年(1366)の内容を抜き書き。
260	(断簡)			(江戸)	横井十郎左衛門	野間養春様	1	状	「貴墨」云々と記載あり。
261	(中条氏ニ付書状)			(江戸後期)	横井十郎左衛門 皆庸(花押)	野間林庵様	1	状	虫損大。/前欠。/状の継ぎ目が取れている。
262	(戊辰戦争における諸藩動向ニ付書状)			明治元年4月～6月	世外	林庵殿	1	状	4月15日付、閏4月14日付、5月17日付の書状が写されている
263	(山本半之丞女家系ニ付書付)			(江戸)			1	状	山本半之丞は水野監物忠善の家臣

野間林庵家文書

閲覧請求番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	点数	形態	備考
264	(厭蝕太平記抜書)			(江戸)			1	状	「穢多ヶ崎」という表記あり。/木村主膳正の家臣の人名などが書かれている。/虫損。
265	(長窓院・長寿院など寿命ニ付書付)			(寛政4年以降)			1	状	
266	(平岩七郎兵衛親類書)			(江戸)			1	状	虫損。
267	(尾張藩主家督相続并に逝去日書付)			(寛政期以降)			1	状	義直～宗睦/藩主名・逝去日・家督相続日は赤字
268	(野間林庵家先祖系譜)			(江戸)			1	状	野間隆昌までの系図が書いてある。
269	(起春・春忠・恒忠・春雄の妻生家ニ付書付)			(江戸中期)			1	状	起春・春忠・恒忠・春雄のいずれも鳥居姓。
270	(長野祐永先祖系図)			(元禄6年以降)			1	状	長野祐永が元禄6年に書院番として召し出される。
271	(野間林庵奥詰御医師任命ニ付礼状)			(文化14年カ)			1	状	下書カ。/御側御用人宛、御年寄衆宛、御用人衆宛に分かれる。
272	光友公御時代武鑑書抽			(江戸)			3	状	医師の名前が記されている。
273	(尾張藩士人名書上)			(江戸後期)			1	状	平岩五左衛門ら尾張藩士の名前や親類の情報が書かれている。
274	口上(約束の書物拝借ニ付書状)			(江戸中期)5月	(吉田)主水		1	状	虫損。/後欠。
275	并河芳寿先祖書			寛政3年辛亥7月	外科 并河芳寿		1	状	并河家は尾張藩医の家。/并河芳庵～并河芳寿の履歴が記されている。
276	(高田宗全寺社数并金銭ニ付書付)			享保19甲歳寅3月			1	状	
277	先祖書草稿(野間林庵家先祖書草稿)			(江戸中期)			1	状	野間長十郎以降の当主の経歴が書いてある。
278	(別紙巻冊返却ニ付書状)			(江戸)	小笠原三九郎	野間林庵様	1	状	状の継ぎ目が取れている。/虫損。
279	御護・衣服覚(御護りの羽織・反物ニ付書)			(文化13年)			1	状	
280	(大系図抜書)			(江戸)			1	状	
281	(矢数ニ付書付)			文化14年春	杉立信吉		1	状	杉立信吉は尾張藩の御弓役。/写カ。
282	多田満仲八代後胤(多田氏代々当主ニ付書付)			(江戸)	高頼二十三代 野間撰津介頼之		1	状	野間頼之は83歳。
283	(句数ニ付書付)			(江戸)			1	状	白紙とも。/虫損。
284	(先達て差上候系譜洩れあり候ゆえ差し替えたきニ付書状)			(江戸)4月			1	状	状の継ぎ目が取れかかっている。/下書き。
285	(勇之助様御療治ニ付書状)			(江戸)3月20日	兼口左衛門	野間林庵様	1	状	状の継ぎ目が取れかかっている。/虫損。/汚れ。/勇之助:徳川宗勝六男勝長/野間林庵:野間隆喜。
286	(花ニ付書付)			(江戸後期)	(野間)隆広		1	状	草稿カ。
287	心得書付(人馬継立帳ニ付心得)			(江戸)			1	状	後欠。/汚れ。
288	(脇差ニ付書付)			文化(2)乙丑10月			1	状	「竹田三雄祖父」と記載あり。/竹田三雄は尾張藩医。
289	(略系拝見并に末家の家系ニ付書状)			(江戸後期)2月1日	野間忠五郎	野間林庵様	1	状	封筒とも。/封筒の虫損大。
290	残雪・青柳随和風・海辺霞・夕梅・雀(春ニ付書付)			(江戸後期)	隆広		1	状	
291	知多郡上野間村之内字越智住居天木□□名乗人々			(宝暦期以降)			1	状	虫損。/16人の名前が書きあげられている。
292	(母上様病気危篤ニ付見舞の書状)			(明治)	竜雄	御岳父様	1	状	
293	橋上落葉(落葉ニ付書付)			(江戸後期)	野間隆広		1	状	
294	(包紙)			(江戸)			1	包紙	包紙に「自休老」と「周易本卦」と書いてある。/「自休老」=野間自求のことカ。

野間林庵家文書

閲覧請求番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	点数	形態	備考
295	(鳥居軌春妻経歴ニ付書付)			(延宝4年以降)			1	状	鳥居軌春:尾張藩士。/虫損。
296	(恒河自信親類ニ付書付)			(江戸)			1	状	虫損。/恒河自信:恒川自信。/五十人目付。
297	(野間養春勤書)			(寛政3年以降)	御側医御免寄合御医師 野間林庵		1	状	草稿カ。
298	春來管弦中・若菜・曙鶯・立春見鶴・子日遊 (春ニ付書付)			(江戸後期)	野間隆広		1	状	
299	(野間林庵來診に及ぼざる儀ニ付書状)			(江戸)6月22日	笹井小三太	野間林庵様	1	状	状の継ぎ目が取れている。/ 虫損。
300	(短冊二枚并に花贈り候ニ付書状)			(江戸)6月6日	生駒保巳		1	状	虫損。
301	(朝鮮通信使一覽并に朝鮮・日本間の距離 ニ付書付)			(江戸)			1	状	状の継ぎ目が取れている。
302	(津田九郎次郎とともに関東へ出張ニ付書 状)			(江戸後期)	千賀与八郎	野間林庵さま	1	状	津田九郎次郎:津田勝倫。/ 千賀与八郎:千賀武信カ。
303	(大御番組任命ニ付書状)			慶応4年8月8日	野間無外	加藤内蔵三	1	状	
304	(風呂敷・合羽・陣羽織受取ニ付書状)			(江戸)22日	丹羽信四郎	野間林庵様	1	状	
305	(高田藩士・新発田藩士人名書付)			(慶応4年カ)			1	状	虫損。/高田藩士1名・新発田 藩士1名の名前が書きあげら れている。
306	(処方仕候薬種ニ付書付)			(慶応4年カ)			1	状	北越出兵と関連カ。
307	厭触太平楽記十(関東方勢揃之事附り攻口 手分之事抜書)			(江戸)			1	状	厭触太平楽記は近世の小 説。
308—1	(翠を遣わし候ニ付書状)			(明治)7月23日	竜雄	はさま	1	状	
308—2	(竜雄よりの郵便につき相談仕りたきニ付書 状)			(明治)			1	状	破れかかっている箇所あり。/ 後欠。
309	(屋敷御用ニ付書状)			(江戸)			1	状	後欠。
310	(御借用筋之儀ニ付書状)			(江戸後期)	小瀬新右衛門	野間林庵様	1	状	状の継目が取れている。
311	(竜雄病氣ニ付書状)			(明治)	竜雄	隆広様	1	状	
312	先祖親類書草稿			亥(寛政3年カ)8月	御側医御免寄合御医師 野間林庵		1	状	野間林庵=野間養春。/虫 損。
313	先祖書(野間林庵先祖書)			(江戸中期)	(野間養春カ)		1	状	野間久兵衛から野間隆喜の 弟の経歴まで書かれている。/ 「ひかへ」という端裏書あり。/ 状の継ぎ目が取れかかっている 箇所あり。
314	(包紙)			(江戸)	生駒因幡	野間林庵様	1	包	
315	(出勤の儀につき別紙の通り申上候ニ付書 状)			(江戸)	茂吉	林庵様	1	状	裏面には公方両将記に関する 抜書あり。
316	文化十酉十二月貸元金拾兩壹割半利戌方 十年済毎年元利請取之覚			(文化10年)	寺社方役所@		1	状	
317	下(大御番組大田孫吉痛風煩候ニ付書状)			(文久2年以降)			1	状	草稿カ。/大田孫吉が大御番 組の役に就いていた時期は、 文久2年12月22日～元治2年 2月12日
318	(翠殿より返事仕り候ゆえ承知下されたきニ 付書状)			(明治)2月23日	竜雄	隆広様	1	状	
319	(北出氏住所ニ付書状)			(明治)12月1日	竜雄	隆広様	1	状	汚れあり。
320	(尾張藩主御休息所并に御宿泊所ニ付書 付)			(江戸)			1	状	名古屋へ向かう際に宿泊した 中山道の宿場名と昼食の場 所が書かれている。/状の継ぎ 目が取れている。/虫損。
321	(野間林庵先祖親類書)			(寛政元年以降)	(野間養春カ)		1	状	下書き。
322	(晩方迄に御出下されたきニ付書状)			(江戸)5月	吉田主水	野間林庵様	1	状	虫損。
323	(野間家代々当主ニ付書付)			(天明6年以降)	野間屋敷		1	状	

野間林庵家文書

閲覧請求番号	標題	細目番号	細目内容	年号	作成者	宛所	点数	形態	備考
324	(生駒鍋之進御禿召出ニ付書状)			(江戸中期)	生駒因幡 致長(花押)	野間林庵様	1	状	包紙とも。/生駒致長は元禄14年に継父遺領、寛保元年に卒。/生駒鍋之進は致長の
325	(御拝領の二文庫ニ付書状)			(江戸)8月4日	丹羽口 太夫	野間林庵様	1	状	虫損。
326	(補中益気湯効能・原料ニ付書付)			(江戸)			1	状	状の継目が取れて4つに分かれている。
327	(羊かん代など拾老笏の代金三朱受取ニ付証文)			(慶応4年カ)辰7月9日	中川屋弥五平◎	尾州御病院方様	1	状	
328	(老両式朱式百三十四文内訳ニ付書付)			(江戸)			1	状	
329	覚(砂仁・藿香・半夏五十七笏五歩の代金三歩三朱式百九拾式文請取ニ付証文)			(慶応4年カ)辰7月5日	中川屋弥五平◎	御病院方様	1	状	◎には「中川薬店」と書いてある。
330	六節蔵象論之中(六節蔵象論篇抜書)			(江戸)			1	状	虫損。/六節蔵象論は中国の鍼灸書『黄帝内経』の一部
331	(靈蘭秘典論など抜書)			(江戸)			2	状	虫損。/靈蘭秘典論は『黄帝内経』内の一節。
332	生氣(医学書抜書)			(江戸)			1	状	
333	(封筒)			明治31年7月23日	竜雄	はさま	1	封	
334	(野間鍋之進御禿被召出并御切米御扶持下され候ニ付書状)			(享保17年)2月25日	久野七郎右衛門	野間鍋之進様	1	状	包紙とも。/汚れ。/野間鍋之進:野間隆喜の三男。/久野七郎右衛門:久野泰仲(宗直)。享保16年に徳川宗春の
335	(以前の譜認候儀ニ付書付)			(江戸)			1	状	剥離した付紙カ。
336	(包紙)			(江戸)			1	包紙	何も入っていない包紙。ただし、包紙の内部が赤くなっているの薬などが入ってい
337	(寛文六年日毎の気候并に和歌抜書)			(寛文6年～延宝4年)			1	状	
338	(扇子)			明和元年以降)	法橋春川筆◎		1	扇子	馬が5頭描かれている。/春川:大岡春川カ。/江戸時代の画家で明和元年に法橋に叙せられる。
339	(括り紐)			(文化12年以降)			1	紐	どの史料をくろんでいたか不明。/「家譜」、「文化十二年」という文字が見える。